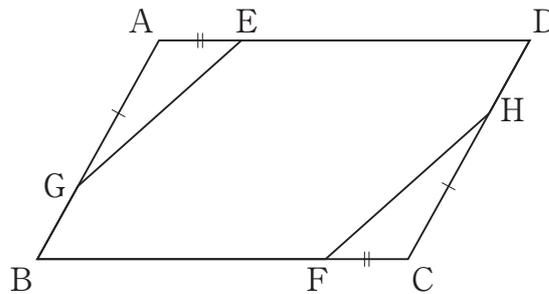


- 8 平行四辺形ABCDで、辺AD、BC上に、 $AE = CF$ となるように点E、Fをそれぞれとります。また、辺AB、CD上に、 $AG = CH$ となるように点G、Hをそれぞれとります。このとき、 $EG = FH$ となることを、ある学級では、次の図1をかいて証明しました。

図1



証明

$\triangle AEG$ と $\triangle CFH$ において、

仮定より、 $AE = CF$ ①

$AG = CH$ ②

平行四辺形の向かい合う角は等しいから、

$\angle EAG = \angle FCH$ ③

①, ②, ③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので、

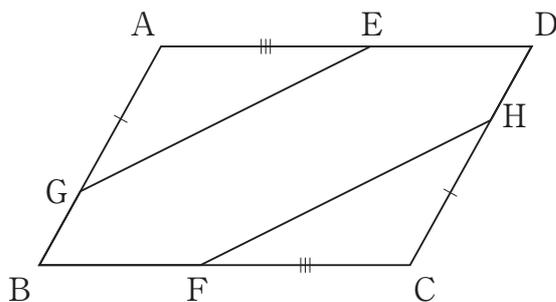
$\triangle AEG \equiv \triangle CFH$

合同な図形の対応する辺は等しいので、

$EG = FH$

この証明をしたあと、点E、Fの位置を**図2**のように変えました。
 このときも**図1**と同じように $EG = FH$ となるかどうかを考えてみたところ、下の**ア**から**エ**までのような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。

図2



- ア** **図2**の場合も、 $EG = FH$ であることは、すでに前ページの**証明**で示されている。
- イ** **図2**の場合は、 $EG = FH$ であることを、改めて証明する必要がある。
- ウ** **図2**の場合は、 $EG = FH$ であることを、それぞれの辺の長さを測って確認しなければならない。
- エ** **図2**の場合は、 $EG = FH$ ではない。